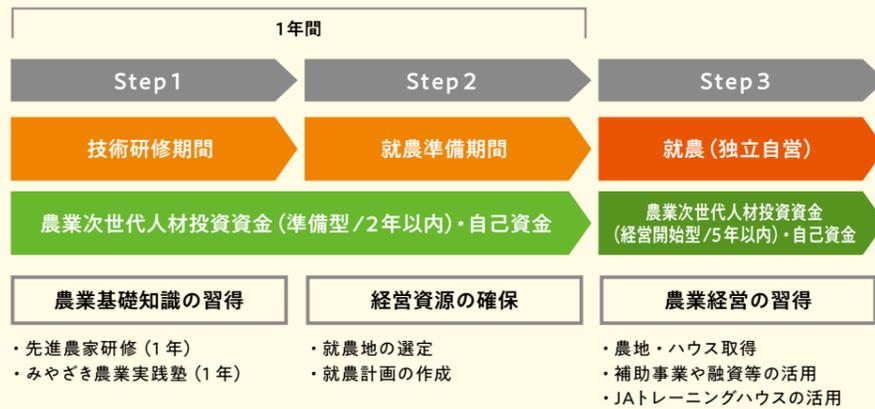


# 就農 INFORMATION

## ● 就農の流れ



## Q. 先進農家研修って？

A. JA 児湯の管内で実績豊富な優良農家のもとで実践的に野菜づくりを学ぶことができます。1年間の研修中、研修会・交流会で地域の農家との親睦を深めることができるため、JA 児湯で就農したい方なら、就農準備や就農後のフォローなどがスムーズに進むメリットがあります。

## Q. みやざき農業実践塾って？

A. 高鍋町にある宮崎県立農業大学校において実施されている研修です。宮崎県内で新規就農を目指す方なら誰でも、農業大学校の栽培施設(ハウス)や露地ほ場等を利用して、就農に必要な農業の基礎知識から野菜栽培に関する実践的な技術までを体系的に学ぶことができます。

## ● 児湯新規就農者 募集要領

- 応募資格
  - JA 児湯管内(高鍋町・新富町・木城町)に移住し就農を目指す方
  - 18歳以上55歳未満の、心身共に健康で農業経営に意欲のある方
- 募集期間 毎年2～4月
- 募集人員 2～3名
- 研修開始・期間 毎年7月～1年間
- 内容 施設園芸
- 品目 ピーマン・きゅうり・トマト類
- その他 「JA 児湯新規就農者確保・育成・支援事業実施要領」に基づき、書類選考、面接により研修生を決定いたします。

## ● お問い合わせ

### 児湯農業協同組合(児湯地域担い手育成総合支援協議会)

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋99-1

TEL: 0983-22-4571

<http://koyu.ja-miyazaki.jp/>

新富町 産業振興課 0983-33-6034

高鍋町 農業政策課 0983-26-2021

木城町 産業振興課 0983-32-4739

### 〈アクセス〉

宮崎空港からお車でお越しの場合: 宮崎空港から東九州自動車道を利用し約50分  
宮崎駅からJRでお越しの場合: JR日豊本線を利用し、高鍋駅まで約20分



歴史と文教の城下町「高鍋町」、ウミガメとサーファーに愛される浜が広がる「新富町」、大自然と水のユートピア「木城町」の3町で構成されるJA 児湯。きゅうり、ピーマン、トマト類の3品目を中心に豊富な野菜生産量を誇ります。野菜の一大産地として知られるエリアだけに先進的な農家が多く、一緒に成長できる環境です。恵まれた環境の児湯で、未経験から充実した日々を過ごせる農家を目指してみませんか。

# こゆ 児湯で 農業!

宮崎のど真ん中!  
海・山・街の  
魅力あふれるエリア



# こゆ 児湯で農業!

新規就農者がチャレンジしたくなる3つの理由。

## 理由① 選択枝は3町×3品目!

JA 児湯を構成する3町が持つ海(新富町)、山(木城町)、街(高鍋町)、それぞれの魅力と、収量と収入が安定しているきゅうり、ピーマン、トマト類の3品目を組み合わせ、自分らしい農業を実現できます。

## 理由② 充実の研修!

就農に向けた研修は2種類。地域の優良農家のもとで学ぶ「先進農家研修」と、高鍋町にある宮崎県立農業大学校で学ぶ「みやざき農業実践塾」です。どちらも研修期間は1年間ですが、2年かけて両方受講することも可能です。

## 理由③ 若い仲間と切磋琢磨!

児湯地域は農業の担い手に若い世代の割合が多いエリアです。そんな活力あふれる若い先輩と研修会・交流会で切磋琢磨しつつ、野菜づくりの達人から栽培ノウハウや体験談を学びながら成長できます。



## JA児湯ってこんなところ

JA 児湯は、宮崎県が生産量の全国ランキングにおいて上位を占める野菜の県内有数の産地です。県央エリアに位置し、高鍋町、新富町、木城町の3町で構成されています。一ツ瀬川と小丸川流域に広がる水田地帯と、火山灰土壌の畑作台地が広がっており、温暖な気候の中、野菜が根を伸ばしやすい土壌になっています。

## TAKANABE <高鍋>



房の先ほど実が小さくなるため、枝近くの実に栄養をたっぷり行き渡らせることで、単価が高いMサイズの実が多めに実る。

### 原さんが就農した高鍋町はこんなところ

#### 歴史と文教の城下町

宮崎県内で最も面積が小さい自治体です。江戸時代には秋月家3万石の城下町として栄え、藩校「明倫堂」は多くの人材を輩出してきました。



水やりは栽培管理の中でも習得まで3年はかかると言われるほど難しい作業。自動灌水システムの貯水タンク内に配合する肥料の割合は、畑の土壌や与える回数によって、農地ごとに調整が必要である。

異業種からのUターン就農。先輩のアドバイスを基に工夫し、今期は過去最高のペースで収穫。

東京のホテルに20年ほど勤めましたが、家族との時間を大切にしたいと考え帰郷。収量と収入が安定している施設園芸に挑戦するため、県の「みやざき農業実践塾」に入塾しました。就農1期目は順調でしたが、2期目の収量は減少。3期目の収量は病気のために大幅減でした。しかし、4期目の今年は1期目の収量を上回るペースです。成功の要因は、教科書通りの栽培方法にアレンジを加え、自分の農地に合った施肥管理に変えたこと。農地が違えば、育つ作物の特徴も異なります。先輩からも「この方法はうちの畑の場合だから」とよく言われます。試行錯誤の日々ですが、安定した収量と利益の確保を目指します。

★売上目標 10aで627万円

ミニトマト10a当たり経営目標(就農5年目を想定)

収入		経費	
生産量(10a)	11,000kg	種苗費・肥料費・農業費	502,451円
経営面積	10a	動力光熱費	712,071円
単価/kg	570円	諸材料費	1,394,458円
販売量合計	11,000kg	減価償却費	727,912円
売上高	6,270,000円	荷造運賃手数料	1,100,000円
所得	1,253,757円	その他の経費(雇人費等)	579,351円
所得率	20.0%	経費合計	5,016,243円

## KIJO <木城>



よく観察し、手をかけるほど野菜はそれに応えてくれる。その感動を後輩たちに受け継ぐ。

福岡の農業試験場で2年間施設園芸を学んだ後、実家に戻り、両親のゴーヤ栽培から安定的な収入が見込めるきゅうり栽培に転換しました。栽培で大切なのは毎日のこまめな観察を行い、水や肥料の割合、量を判断して与えること。病気にならないよう予防的に農薬を散布することも重要です。10月から休みなく収穫作業が続き忙しい毎日ですが、手をかけたぶん、収量が増えるとうれしいです。現在はJA 児湯施設園芸部会きゅうり専門部の会長として部会運営や相互交流に力を入れています。若手生産者はしっかりと親や先輩から技術を受け継ぎ、収量を競い合っているのが心強く、将来が楽しみ。新規就農希望の方の力になれるよう応援していくので、いつでも気軽に声をかけて下さい。

★売上目標 10aで700万円

きゅうり10a当たり経営目標(就農5年目を想定)

収入		経費	
生産量(10a)	20,000kg	種苗費・肥料費・農業費	528,221円
経営面積	10a	動力光熱費	624,482円
単価/kg	350円	諸材料費	429,003円
販売量合計	20,000kg	減価償却費	1,125,803円
売上高	7,000,000円	荷造運賃手数料	1,800,000円
所得	1,531,697円	その他の経費(雇人費等)	960,794円
所得率	21.9%	経費合計	5,468,303円

### 永友さんが就農した木城町はこんなところ

#### 大自然と水のユートピア

町の中央に流れる清流小丸川と周囲に広がる山林を生かし、キャンプ、カヌー、ボウダリング、マウンテンバイクなどのアウトドアスポーツを楽しむ施設が充実しています。



永友さんの考える良いきゅうりとは収量が上がり、かつ品質が良く、まったく規格に合うきゅうり。しっかり水分を保持して鮮度のあるものを出荷するようにしている。

達人に憧れ、移住を決意。幾多の困難を乗り越えられたのは、師匠直伝の技とピーマン愛があってこそ。

農業大学校1年の時、研修で訪れた新富町でピーマン農家の福山さんと出会ったことが就農のきっかけです。次々と新しい技術を取り入れ、収量をアップさせている福山さんの仕事ぶりに感動。師事するため、卒業後、広島から移住しました。ところが就農した年は口蹄疫、翌年は新燃岳の噴火と東日本大震災の影響で計画通りに出荷できず、いきなりつまずいてしまいました。でも、農業をやめたいとは思ったことは一度もありません。なぜなら、手入れ次第でピーマンが日々変化する様子を見るのが嬉しいから。生き物と接していると自分自身も生き生きできて楽しいんですね。奥の深い仕事なので、自分の技や知識がレベルアップした分だけ収量増につながる醍醐味もあります。

★売上目標 10aで780万円

ピーマン10a当たり経営目標(就農5年目を想定)

収入		経費	
生産量(10a)	15,000kg	種苗費・肥料費・農業費	561,001円
経営面積	10a	動力光熱費	1,244,353円
単価/kg	520円	諸材料費	551,251円
販売量合計	15,000kg	減価償却費	1,084,304円
売上高	7,800,000円	荷造運賃手数料	2,040,000円
所得	1,273,034円	その他の経費(雇人費等)	1,046,057円
所得率	16.3%	経費合計	6,526,966円



広島で暮らしていたご両親も宮崎に移住し、ピーマンづくりを手伝っている。ゆったりと過ごせる環境と気さくな町民性が魅力と語る。

### 山本さんが就農した新富町はこんなところ

#### 野菜と海と太陽の町

東南部一帯の一ツ瀬川沿いにひろがる平坦部に施設園芸・水田地帯、北西部の高台に畑地帯が広がります。海岸部の富田浜はアカウミガメの産卵地として有名です。



山本さんがピーマン農家を志すきっかけとなった福山三義さんは、宮崎のピーマン栽培の第一人者。昭和40年代にピーマン栽培を始めて以来、多くの新規就農者を指導してきた。現在はJR九州の農業事業の指導も担当。今も山本さんにとって師匠といえる存在。